

令和3年度 土浦日本大学高等学校通信制課程自己評価結果

本校の目指す学校像	日本大学の建学の精神を礎とし、生徒一人ひとりの夢の実現に向けた努力をサポートを目指しています。 (1) 次の時代の先駆者となるべく目標と覚悟をもつ生徒を育成します。 (2) 自ら学び、自ら考え、自ら道を開いていくことができるように努めます。
-----------	--

本校の特徴および課題	本校は、日本最大級の規模を誇る総合大学、日本大学の付属高校であるという安定した基礎の上に、生徒の自主性を尊重しつつ、一人ひとりをしっかりサポートしていきます。土浦日本大学学園全体で、それぞれの生徒に合った学習の場を提供し、進路や将来を見据えての悩みなどにカウンセリングを中心として、一人ひとりに応じた心理支援に取り組みます。日本大学付属校のメリットを活かした進学をはじめ、生徒一人ひとりに応じた進路指導に取り組みます。
------------	---

令和3年度取組結果	本校通信制課程の開校年度であったため、入学生2名と転籍生1名のスタートとなった。しかし、6月以降転校生、転籍生が徐々に増え、年度末には22名の在籍となった。今年度の卒業生3名であり、日本大学文理学部史学科へ1名、土浦看護専門学校へ1名の進学となった。新学習指導要領にあわせて、一人ひとりの生徒に合わせたコースを設置した。進学コース、通学コース、一般コース、スポーツ・芸術コースの4コースを設置し、それぞれの夢の実現に向けて、さらにステップアップできるように体制を整えている。
-----------	---

目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況	A：取組目標が達成された B：目標はおおむね達成された C：課題を多く残している D：成果が出ていない
-----------------------	--

校務分掌	評価項目	設定や点検の内容・活動の進捗状況	目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況
教育活動 (教務)	①目標の設定について	一人ひとりの生徒に合わせた学習指導、ICTを活用した学習提供。日本大学推薦入試に向けた模試の実施。	B
	②活動の実際について	シラバスを作成し、生徒の学習ベースが保たれるようにした。	B
	③活動の点検について	生徒の中に学習ベースが保たれずに、レポートの作成・提出が遅れる者で出てしまった。保護者との連携をさらに深める必要がある。	B

校務分掌	評価項目	設定や点検の内容・活動の進捗状況	目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況
教科指導 (教務)	①目標の設定について	次期学習指導要領に向けた新カリキュラムの実施準備を進める。	A
	②活動の実際について	新学習指導要領・新大学入試制度に合わせたカリキュラムを準備し、生徒一人ひとりの希望に対応できるようにコース毎の提示用カリキュラムを作成する。	A
	③活動の点検について	新指導要領に対応するカリキュラムの作成ができ、茨城県私学審議会認可相当の答申があり、茨城県の承認も得た。また、各コースの提示用カリキュラムも準備が整った。	A

校務分掌	評価項目	設定や点検の内容・活動の進捗状況	目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況
学校生活への配慮 (生徒指導)	①目標の設定について	生徒一人ひとりの生活・心理状況を踏まえた生徒指導を行う。登下校時には、教職員から積極的に挨拶をする。	A
	②活動の実際について	生徒一人ひとりが様々な悩みを抱えているため、状況を踏まえた生徒指導が必要である。特に心因的な課題については、教職員全員が共通理解をして望む必要がある。また、登下校においては積極的に教職員から声がけを行い、生徒と良好な関係が構築できるように努める必要がある。	A
	③活動の点検について	教職員が一人ひとりの生徒の生活・心理状況を把握し、指導が行えた。また、教職員の登下校時の声掛けは生徒にとって非常に良い効果があったと考える。	A

校務分掌	評価項目	設定や点検の内容・活動の進捗状況	目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況
進路指導	①目標の設定について	生徒一人ひとりの希望に合った進路指導を徹底する。日本大学付属推薦への適切な対応を行う。推薦書、調査書の適切な作成・処理を行う。日本大学出張講義への参加サポート。	A
	②活動の実際について	今後生徒数が増えてきたことを想定した進路指導を考えていく必要がある。また、生徒一人ひとりの希望に合った進路指導が教職員全員の共通理解のもと実施された。	A
	③活動の点検について	生徒一人ひとりの希望に合った進路ができた。日本大学学校推薦型選抜を利用して1名の合格者を出せた。また、看護専門学校への進学希望の生徒も進学を果すことができた。日本大学出張講義への参加サポートも行えた。	A

校務分掌	評価項目	設定や点検の内容・活動の進捗状況	目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況
教育相談	①目標の設定について	生徒、保護者からの教育相談を適宜受ける。	A
	②活動の実際について	生徒、保護者からの教育相談を適宜受けられる体制を整え、カウンセラー、全日制の教育相談部とも連携を図る。	A
	③活動の点検について	教育相談体制を構築しつつ、相談があれば適宜対応をしてきた。	A

校務分掌	評価項目	設定や点検の内容・活動の進捗状況	目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況
いじめ防止対策	①目標の設定について	本校全日制で掲げたいじめ防止基本方針に示された『未然防止』『早期発見』『適切な対応』『再発防止』の各取り組みに対するの共通理解を深め、いじめ根絶を目指す。	A
	②活動の実際について	生徒の交流がほとんどないため、未然防止に努めることのみ重点が置かれている。	A
	③活動の点検について	今後、生徒の増加が見込まれ、「未然防止」だけでなく、「早期発見」、「適切な対応」、「再発防止」の3項目の取り組みが必要になると考え、教職員の共通理解、カウンセラーとの連携も必要になってくる。	A

校務分掌	評価項目	設定や点検の内容・活動の進捗状況	目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況
広報 (情報入試)	①目標の設定について	4月から知名度をアップさせるため、県内全中学校・高等学校、千葉県の隣接地域の中学校・高等学校、栃木県の隣接地域の中学校・高等学校への広報活動を実施。茨城県通信制課程等連絡協議会への加入。私学フェア等への参加。ホームページのリニューアル。学校案内のリニューアル。新聞広告への掲載。	B
	②活動の実際について	4月から6月下旬まで中学校、高等学校への広報活動を実施した。茨城県通信制課程等連絡協議会へ加入し、情報の獲得、通信制相談会への参加を実施。私学フェア等への参加を実施し、知名度アップに努めた。ホームページのリニューアル、学校案内のリニューアルを行い、広報活動を活発に行った。また、新聞広告への生徒募集の掲載も行った。	B
	③活動の点検について	年間を通じて、行える広報活動はできた。但し、新聞広告への掲載は通信制を希望する生徒への影響力が少ないと感じた。	B

校務分掌	評価項目	設定や点検の内容・活動の進捗状況	目標設定・活動点検の適切さ・活動の達成状況
管理運営 (事務)	①目標の設定について	施設、設備の整備。広報活動への協力。開校式、入学式、卒業式の実施。	B
	②活動の実際について	<ul style="list-style-type: none"> ・右柳桜キャンパスとして、校舎への通信制課程の表示、職員室等の整備を実施した。また、広報活動のための営業用車両の購入した。 ・入学生用の「入学準備」の作成を行った。 ・全日制庶務部の協力のもと、開校式、第1回入学式、第1回卒業式をマルチスタジオで学園をあげて実施し、入学生を迎え、卒業生を送ることができた。 ・個々の生徒の単位取得数・必要な学習支援に応じて納付金を収受することが必要なため、申込書類等と照合の上、適切に事務処理を行った。また、合格書発行まで教務・情報処理を連携し遅滞なく事務処理を行った。 	B
	③活動の点検について	全日制の施設を利用する場合の連携をしっかりとしなければならない。今後、運営上、さらに必要となることを検討し精査していかなければならない。生徒増を見越した計画も立てる必要がある。	B